

施策評価管理シート

2021(令和3)年6月作成

施策体系	施策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	3	安全で安心なまちづくり		
	施策	3	消防・救急	消防本部	八村 知成

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



- 消防施設等の整備と隊員教育の充実を図り、消防対応力を強化します。
- 複雑・多様化する救急・救助事案に対応するため、救急・救助体制を強化します。
- 地域自主防災組織、民間防火組織及び事業所等と連携しながら、防火・防災意識の高揚を図るとともに、住宅用火災警報器の設置促進及び適切な点検と取り替えに係る広報啓発活動を強化します。
- 地域防災力の向上を図るため、消防団員の確保と消防団活動の充実強化を進めながら、消防団と自主防災組織との連携強化に取り組みます。
- 周辺市町村等との連携による消防広域応援体制を強化するとともに、「三重県消防広域化推進計画」に基づき、引き続き消防の広域化に取り組みます。

2. 令和2年度の実行内容及びその成果



- ・ 消防、救急、救助体制の充実強化を図るため、緊急防災・減災事業債を活用し、次の消防施設等を整備しました。
常備消防…化学消防ポンプ自動車1台、高規格救急自動車1台
非常備消防…コミュニティ消防センター1棟、小型動力ポンプ積載車2台、小型動力ポンプ付軽搬送車1台
消防水利…耐震性貯水槽1基
- ・ 警防・救助活動に係る教育プログラムに基づく訓練を実施し、令和2年度内において、若手職員(消防士長以下)一人あたり平均120時間の警防・救助訓練を行いました。
- ・ 高度化・複雑化する救急需要に対応するため、救急救命士の養成、救急ワークステーション等による救急隊員教育の充実、市立病院をはじめとする医療機関及びドクターヘリとの連携強化に取り組みました。
- ・ 新型コロナウイルス感染者またはその疑いのある傷病者の救急搬送等について、保健所や医療機関等と連携し、感染防止対策を徹底した上で適切に対応しました。
- ・ 新型コロナウイルス感染防止対策として、救急車内を消毒するオゾンガス発生器を導入しました。
- ・ 職員の新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、万一感染者が発生した場合においても業務を継続させるための計画を策定しました。
- ・ 応急手当技術の普及を図るため、感染防止対策を徹底し、応急手当普及員の養成に取り組むとともに、延べ565人の方に応急手当講習を受講いただきました。
- ・ 市広報、FMなびり、CATV等の広報媒体、各種行事・イベント等を活用するとともに、新たに啓発用マグネットシートを作成し、コミュニティバスと市公用車に貼付け、住宅用火災警報器の設置及び点検の促進と火災予防啓発等の広報啓発に取り組みました。
- ・ 防火対象物、危険物施設に対する立入検査を年間290件実施し、事業所からの出火防止を図るとともに、「重大な消防法令違反対象物にかかる公表制度」による違反公表対象物については昨年度に引き続きゼロを維持しました。
- ・ 消防団員確保に向け、新たに入団1年後の意志確認制度や分団員の役割分担制度を導入するとともに、消防団員の士気高揚を図るためラッパ隊を発足しました。
- ・ 火災、台風時等の連絡体制強化と情報共有を図るため、消防団幹部と事務局間において自治体専用のチャットツール「ロゴチャット」を導入しました。
- ・ 当市の消防力を超える大規模災害の発生に備え、「名張市消防受援計画」の改定を行いました。
- ・ 伊賀市消防本部と指令業務の共同運用を含む消防事務の連携・協力を行うことで、保有する人的・財政的な資源を有効活用し、消防力を強化することを目的として「伊賀市・名張市消防連携・協力実施計画(案)」を策定しました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
救急救助体制が充実していると感じる市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	60.3	39.3%
	成果	51.9	54.3	54.5	55.2			
3ヵ年平均出火率(件/万人)	目標	-	-	-	-	-	1.85	0.0%
	成果	1.88	2.40	2.75	2.47			
応急手当講習会受講者数【延べ数】(人)	目標	-	-	-	-	-	80,000	40.5%
	成果	60,372	64,111	67,756	68,321			

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・厳しい財政状況が続く中、通信指令施設、消防車両及び資機材並びに消防水利の整備については、財源の確保を図るとともに、老朽化の状況を確認しながら事業延伸も含めて計画する必要があります。
- ・複雑・多様化する災害に対応できる職員を育成するため、指揮活動及び警防・救助活動に係る教育訓練の強化に取り組む必要があります。
- ・高度化・複雑化する救急需要（令和元年度…3,637件、令和2年度…3,314件）に迅速、的確に対応するため、救急隊員の教育訓練の強化と医療機関との更なる連携・強化に取り組む必要があります。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、応急手当講習会の場所や受講者数を制限するなどの対策が必要となり、受講者数の減少が懸念されます。
- ・引き続き、職員の新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、万一感染者が発生した場合においても職員全体で勤務調整を行い業務体制を維持する必要があります。
- ・住宅用火災警報器の更なる設置促進に向けた啓発に加えて、設置義務化から10年以上経過したため、点検と取り替えについて重点的に啓発する必要があります。
- ・3カ年平均出火率が上がっており、特に近年、住宅や事業所等の建物火災が増加していることから、出火防止対策を強化する必要があります。
- ・過疎地域における消防団員不足が課題であることから、あらためて地域と連携・協力して消防団員の確保対策に取り組む必要があります。
- ・当市の消防力を超える大規模災害の発生に備え、消防受援体制の強化に取り組むとともに、地域防災の要となる消防団、消防団活動協力員及び自主防災組織との更なる連携強化に取り組む必要があります。
- ・「指令業務の共同運用」、「災害対応力の強化」、「施設整備や維持管理に係る経費の低減」、「人材育成」などの観点から、伊賀市消防本部と連携・協力すべき事務について、具体の協議、検討を行い、実現に向けて事務を進める必要があります。

5. 分析結果を踏まえた施策の取組内容（令和3年度以降）



- ・若手隊員の訓練時間の確保を図り、継続して警防・救助活動に係る教育訓練の充実強化に取り組みます。
- ・高度化・複雑化する救急需要に対応するため、救急救命士の養成、救急ワークステーション等による救急隊員教育の充実に取り組むとともに、救命率の向上を図るため、市立病院と連携し、クラウド型12誘導心電図伝送装置の導入、運用に取り組みます。
- ・引き続き、新型コロナウイルス感染症への対応として、職員の感染防止対策の徹底に取り組むとともに、感染拡大の状況に応じて、保健所や医療機関等と連携を密にして、救急搬送業務等を適切に対応します。
- ・感染防止対策を十分に講じた上で、一般市民を対象とした応急手当講習の受講機会を増やすとともに、引き続き、消防団、事業所及び学校関係機関と連携を図りながら応急手当普及員の養成に取り組めます。
- ・あらゆる機会を捉えて、住宅用火災警報器の設置促進と定期点検などの適切な維持管理の促進について広報啓発の強化に取り組めます。また、火災予防広報を強化することで出火防止対策に取り組めます。
- ・違反公表対象物ゼロを継続するため、防火対象物、危険物施設に対する立入検査と違反是正指導を強化します。
- ・立入検査等の予防業務全般について全職員を対象に研修を行い、人材育成を図ります。
- ・若い人材が消防団に興味を持ち入団に繋げる方策として、YouTube等の多様な媒体を使用したPR活動を行い消防団員の確保対策に取り組めます。
- ・消防団施設の充実を図るため、赤目分団丈六地区コミュニティ消防センターを更新整備します。
- ・当市の消防力を超える大規模災害の発生に備え、「名張市消防受援計画」に基づく職員の行動計画の充実を図るため、市防災訓練において行動計画の実践訓練と検証を行います。また、引き続き、消防団活動協力員の確保に取り組むとともに、地域における防災訓練等を通じ、消防団、消防団活動協力員及び自主防災組織との連携強化に取り組めます。
- ・伊賀市消防本部と連携・協力すべき事務について具体の協議・検討を行い、「伊賀市・名張市消防連携・協力実施計画」と「消防指令業務共同運用基本構想」を策定し、「伊賀市・名張市消防連携・協力に関する協定書」の締結及び指令業務共同運用に係る広域連携事務執行機関の発足に取り組めます。

施策を構成する主な事務事業

*事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています(施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます)。

*R2決算見込は、R1からの繰越額も含みます。

*R3予算は、R3.4.1時点での金額を記載しています。(R2からの繰越額含む。)

*R3予算のみ金額が記載されている事務事業は、R3の事業内容を記載しています。

(単位：千円)

会計	事務事業名	担当部局名	担当室名	令和2年度内容	R2決算見込		R3予算	
					決算額	うち一般財源	予算額	うち一般財源
一般	消防ポンプ自動車等整備事業	消防本部	消防救助室	消防ポンプ自動車等を更新計画に基づき、整備・更新しました。 (令和2年度実績) ・化学消防ポンプ自動車 1台更新	63,856	2,356	0	0
一般	小型動力ポンプ積載車等購入事業	消防本部	消防総務室	消防団が消火活動等のために使用する小型動力ポンプ積載車等を更新計画に基づき、老朽化の著しいものから順次更新しました。 (令和2年度実績) ・小型動力ポンプ軽積載車 2台 (薦原分団八幡班、箕曲分団青蓮寺班) ・小型動力ポンプ付軽搬送車 1台 (錦生分団井手・結馬・坂之下班)	14,562	2,362	0	0
一般	高規格救急自動車整備事業	消防本部	救急室	高規格救急自動車の更新計画に基づき、整備・更新しました。 (令和2年度実績) ・高規格救急自動車 1台更新	30,532	632	0	0
一般	消防団拠点施設整備事業	消防本部	消防総務室	消防団活動の充実を図るため、老朽化の著しい消防ポンプ庫2棟を統合し、コミュニティ消防センターとして更新整備しました。 (令和2年度実績) ・コミュニティ消防センター新築工事 1棟 (錦生分団井手・結馬・坂之下班) ・旧消防ポンプ庫解体工事 1棟 (美旗分団東田原班)	27,253	353	36,129	529
一般	耐震性貯水槽設置事業	消防本部	消防救助室	耐震性貯水槽を消防水利整備計画に基づき設置しました。 (令和2年度実績) ・耐震性貯水槽整備(40㎡型×1基) (滝之原地内)	8,666	66	5,288	588